

平成 22 年 11 月 18 日

## 定期検査中の 6 号機使用済燃料プールのキャスク置き場内における 異物の確認および回収について

### <概要>

#### (事象の発生状況)

- ・ 平成 22 年 11 月 1 日、定期検査中の 6 号機の使用済燃料プールのキャスク置き場において、プール底部にボルト 1 本とゴム状の板 1 枚を発見し、回収しました。
- ・ その後、11 月 17 日、同キャスク置き場のプール底部にワッシャー 1 個を発見し、回収しました。

#### (今後の対応)

- ・ ワッシャーが混入した原因を調査します。
- ・ 引き続き、異物混入防止対策を徹底してまいります。

#### (安全性、外部への影響)

- ・ 確認されたワッシャーによる使用済燃料等への影響はないものと考えております。
- ・ 外部への放射能の影響はありません。

#### (公表区分)

- ・ 本事象は公表区分Ⅲ（信頼性向上のために公表する事象）としてお知らせするものです。

詳細は以下のとおりです。

### 1. 事象の発生状況

平成 22 年 11 月 1 日午後 2 時 20 分頃、定期検査で停止中の 6 号機の使用済燃料プールにおいて、次回定期検査の準備作業のため、当社社員が水中カメラでキャスク\*置き場周辺を確認していたところ、キャスク置き場の底にボルト 1 本および板状の異物らしきもの 1 枚を発見しました。

当日午後 4 時 40 分までに、発見したボルト等は掴み治具で回収しました。回収したものは、ボルト 1 本（直径約 1.6cm、長さ約 4 cm）、ゴム状の板 1 枚（縦約 10cm、横約 8 cm、厚さ約 0.8cm）であることを確認しました。

（[平成 22 年 11 月 2 日](#) お知らせ済み・公表区分Ⅲ）

その後、キャスク置き場の底に溜まっていたクラッド（鉄さび等の金属不純物）を吸引清掃した後、あらためて水中カメラでキャスク置き場周辺を確認していたところ、11 月 17 日午前 10 時 50 分頃、協力企業作業員がキャスク置き場の底にワッシャー 1 個を発見しました。

同日午後 2 時 15 分に、発見したワッシャー 1 個（直径約 2.6cm、厚さ約 0.4cm）を回収しました。

また、水中カメラによる確認の結果、当該キャスク置き場内に他の異物はありませんでした。

## 2. 今後の対応

今後、ボルト、ゴム状の板およびワッシャーが混入した原因を調査します。  
引き続き、異物混入防止対策を徹底してまいります。

## 3. 安全性、外部への影響

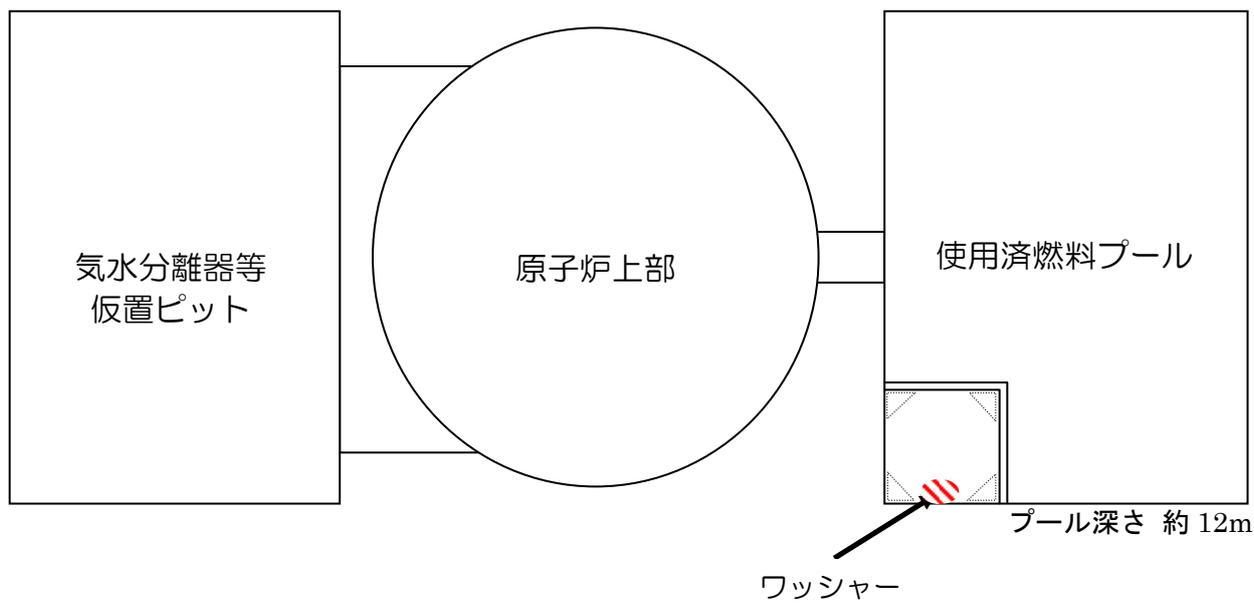
キャスク置き場は使用済燃料プール内の区画されたスペースになっており、  
確認されたワッシャー等が移動する可能性がないことから、使用済燃料等への  
影響はないものと考えています。

また、外部への放射能の影響はありません。

以 上

### \* キャスク

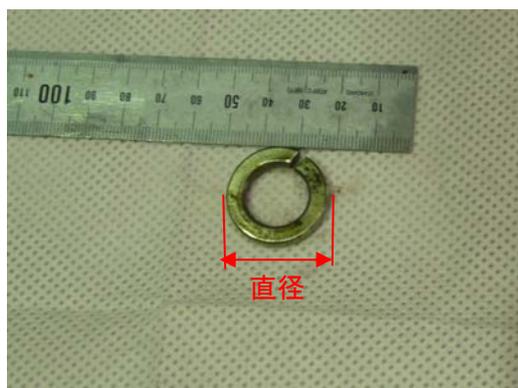
使用済燃料等を運び出すための容器。



原子炉建屋6階平面図

**回収されたワッシャー**

ワッシャー：1個（直径：約 2.6 cm，厚さ：約 0.4 cm）



6号機 使用済燃料プールのキャスク置き場内において回収された異物